



名古屋市立大学大学院理学研究科がおおくりする

コーヒー片手に 身近なサイエンスの集い



サイエンスカフェ イン 名古屋

<https://www.nsc.nagoya-cu.ac.jp/scicafe/>

第158回 植物の品種改良は我々に何をもたらしたか
～遺伝子进行操作することの功罪～

2025年

7/18(金)

午後6～8時

話題提供者：木藤 新一郎 氏

名古屋市立大学・教授

専門：植物生理学・分子生物学

場 所：「タキテリア」(Waichi@TAKItaria)

名古屋市立大学 滝子（山の畑）キャンパス

名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1 (裏面の地図を参照)

喫茶代：実費(1000円：ドリンク＋お菓子)

定 員：30名程度(予約優先です。空席があれば当日参加も可能ですが、先着順となります。)

お申し込み

右下のQRコードから、
オンラインにてお申込ください。

参加申込フォーム



または、お名前、ご希望の開催日を、下記いずれかにてご連絡ください。

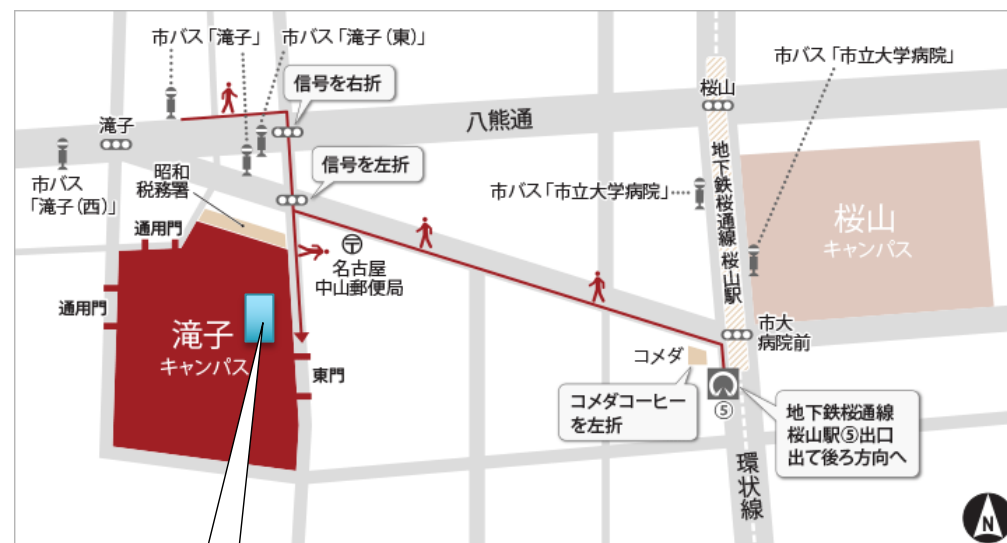
電子メール：scicafe@nsc.nagoya-cu.ac.jp

電話：052-872-3461 (山の畑事務室 ※平日のみ)

申込期限：2025年7月15日(火)

お話のあらすじ

人類は農耕をはじめて以来、常に植物の品種改良を重ねてきました。世界の三大穀物に定義されているイネやコムギ、トウモロコシも、野生の植物(野生種)に様々な方法で手を加え作り出した栽培種です。また、近年では、遺伝子組換えやゲノム編集の技術を活用した品種改良も進められており、それらの手法で開発された植物なしでは生活が成り立たない状況になっています。今回は、その概要を説明すると共に、植物遺伝子进行操作することの功罪について自らの考えを述べます。



会場

詳細な位置は以下をご覧ください。

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/campus-map/takiko/>